

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		家電量販店（店長）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要で今月は売上が前年比150%と大幅に伸長しており、特にテレビ、冷蔵庫、洗濯機等の大型家電の伸びが高い。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・消費税の引上げ前に、商品を購入する客が多数来店しており、前年比160%程度となっている。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要で前年比150%くらいとなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要があり、前年比150%ぐらいで推移している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が多くなっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前で貴金属アクセサリ、ラグジュアリーバッグのほか、カーテン、ウイッグなど家庭用品が好調で、化粧品も9月後半に上向いている。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要はほぼないが、改装効果による来客数の大幅増で売上も前年を上回っている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の特需で非食品を中心に買いだめの傾向が強くなっている。また、まとめ買いの傾向が月の後半になるにつれてどんどん強くなっており、販売量も増加している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税の引上げにより瞬間的に特需が起こっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・消費税の引上げ前で高価な商品が売れている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が増加し、客単価も上がっている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・9月の販売量は新型車の効果と消費税の引き上げ前の駆け込み需要で前年比115%となっている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（支配人）	販売量の動き	・8月末ぐらいから消費税の引上げ前の駆け込み需要の動きが出始め、特に高額品や頻度品の需要が高まっている。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・5～6月と客単価が低下傾向にあったが、当月は前年を上回っており、3か月前に比べれば底を脱している。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・秋の観光シーズンに向けてツアー客の先行予約が順調である。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気はやや良くなっている。
		住宅販売会社（営業担当）	販売量の動き	・戸建ての受注が伸びている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要も特になく、余り変化がない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控えが弱まり、駆け込み客が増加している。
		商店街（理事）	お客様の様子	・異常気象や消費税の引上げという特別な現象はあるが、景気自体は特に変化していない。
	一般小売店 [洋裁附属品]（経営者）	来客数の動き	・少し涼しくなって人通りが増えてくることを期待しているが、今のところ、来客数に変化がない。	
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・前年の売上を超えている部門が多いが、これは消費税の引上げ前の影響があるため、景気が回復しているわけではない。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・9月に入り、消費税の引上げ前で、動きが良くなるかと期待していたが、前年と比べても変化がない。月末が近づき、化粧品は駆け込み需要で大きく動いているが、婦人服は勢いがなく、前年比1けたプラス程度しか伸びていない。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月は消費税の引上げ前という特殊要件があり、最近の動向からすると好調であるが、前回の引上げ時の2014年3月と比較すると予測より下回っている。最も好調なアイテムとなっているのは化粧品である。	

百貨店（人事担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前で特選ブランド、時計、家具家電など一部需要が高まっているが、衣料品全般が苦戦しており、全体では上向いていない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・9月は来客数が前年の100.7%、客単価が前年の98.7%とほぼ前年並みとなっている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・客単価は落ちていないので、落ち着いて推移している。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待していたが、販売量に変化がない。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜の単価が8ポイント程度下がったままで推移しているが、全体的に販売点数は前年並みとなっている。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・9月に入り猛暑も和らぎ、秋冬物の商品が売れている。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要も余りみられず、売上の状況に変化はない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の伸びが鈍化している。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・消費税の引上げ前のため、僅かではあるが、来客数が増加しているものの、購入にはつながっていない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・消費税の引上げ前に上期決算セールを開催したため、売上が伸びると思っていたが、前年と変わっていない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・消費税の引上げの影響もなく、販売量も変わっていない。
その他専門店 【土産物】（経営者）	来客数の動き	・週末に台風が来るなどタイミングが悪い面もあるが、全体的に来客数が増えずバスツアーなども減っている。
その他専門店 【和菓子】（経営者）	来客数の動き	・景気に大きな変化はない。
高級レストラン （事業戦略担当）	販売量の動き	・景気が良くなっているという要素が見当たらない。
一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・消費税の引上げ前で外食が増えており、来客数や来店頻度が増加している。
その他飲食 【サービスエリア内レストラン】（店長）	来客数の動き	・悪天候で来客数が少ない。
観光型ホテル （支配人）	来客数の動き	・例年同様、9月に入り、来客数が減少している。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・天候不順で旅行の行先などがなかなか決まらない。
旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・売上の悪かった前年度と比較して横ばいであるため良い状況ではない。
タクシー運転手	お客様の様子	・消費税の引上げの影響が少しあるかもしれないが、現在は変わらない。
タクシー運転手	来客数の動き	・客の動きが悪い状態が続いている。
通信会社（経理担当）	お客様の様子	・ここ数か月特に変化がない。
テーマパーク （管理担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前の消費活動から景気は変わらない。
テーマパーク （営業担当）	来客数の動き	・週末の天候不順や台風等により客の動きは悪い。
テーマパーク （業務担当）	来客数の動き	・秋の花の時期で、少しずつ来園者が増えてきてはいるが、台風の接近や週末の雨で来園者の伸びがない。
観光名所（館長）	来客数の動き	・台風など天候による大きなマイナス要因はないが、プラス要因もなくこう着状態が続いている。消費税の引上げで入場料が20円高くなるが、引上げ前の駆け込み需要はない。
ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・大雨や台風など天候不順のため、客が減少している。
競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・一般競争における1日の平均売上が横ばい状態である。

その他レジャー施設 [温泉センター] (担当者)	来客数の動き	・消費税の引上げ前で、今月は回数券の購入等が多く客単価がアップしているが、来客数はやや下がり気味である。
設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み受注が顕著でない。
設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込みの行動がなく、大きな変化がない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・とくに消費税の引上げ前の駆け込みの動きはなく、客の動きは依然として落ち着いている。
一般小売店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・平成30年7月豪雨の一部特需の反動もあり、来客数は前年から2ポイント、客単価も前年から3ポイント悪化している。
一般小売店 [印章] (経営者)	来客数の動き	・今月は半期決算月であるため、例年であれば売上が増加するが、今年はまとまった注文が余りない。
一般小売店 [茶] (経営者)	販売量の動き	・食品のため消費税の引上げ前の駆け込み需要もなく、特に変化のない状況が続いているが、納入先は前年割れの状態である。
百貨店 (広報担当)	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が想定より伸び悩んでいる。
百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・美術品等は売れたが、駆け込み需要が出ていない。
百貨店 (外商担当)	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要があったのは美術や宝飾品の一部で、衣料品は紳士や婦人が低迷し前年と比較しても厳しい状況である。
百貨店 (購買担当)	お客様の様子	・食品関係は軽減税率があるため、消費税の引上げ前の駆け込み需要が余りないが、婦人服や子供服は20日以降、特に肌着等のまとめ買いが増加している。しかし、紳士、特にオーダー関係は厳しくなっている。
スーパー (販売担当)	お客様の様子	・売上が前年比103%、来客数が前年比113%で好調に推移しているが、消費税の引上げ前の駆け込み需要は余りない。台風の影響で2度の3連休がいずれも雨にたたられたことが少なからず影を落としている。
スーパー (財務担当)	販売量の動き	・ごく一部の商品以外は消費税の引上げ前の駆け込み需要もなく、節約のための買い回りにによる買上点数の前年割れで既存店売上が前年を下回っている。
コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・店舗付近で工事をしている人の来店が減少するなど、来客数が増加しない。消費税の引上げ前にたばこの予約が増加すると期待していたが、来客数の減少もあり、予約も今一つである。
コンビニ (副地域ブロック長)	来客数の動き	・前年の広島県内の復興事業が落ち着き、今まで好調だった主力商品の米飯類、麺類の販売数量が落ちている。一方でデザートのお買い合わせ商品は比較的好調に推移している。
コンビニ (支店長)	お客様の様子	・コンビニ時短問題等でイメージが悪化している。
衣料品専門店 (経営者)	競争相手の様子	・問屋が行う展示会の状況が良くない。
住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・今月大きな売出しを実施したが、売上は前年を大幅に下回っている。
その他専門店 [時計] (経営者)	販売量の動き	・商品の修理やメンテナンスは多いが、販売量は少なく、単価も低下している。
その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	それ以外	・消費税の引上げ前に買い控えや購入意欲の低下が出ている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・金曜日と土曜日の来客数が前年の80%を下回っているが、他の曜日の来客数の関係で、全体では前年の95~97%の来客数を維持している。時間帯別では、夜9時以降の売上が前年の93%を割り込む状況が続き、1人当たり、1組当たりの売上も90%を割り込む状況が続いている。また、食べ放題を選択するファミリーや若者が減少し、食べ放題という販売のカテゴリーが行き詰まっている。

	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・不安定な海外情勢に加え、日韓問題などの影響もあり、レストラン等の個人利用が極端に落ち込んでおり、インバウンドの宿泊客もシーズンのにやや落ち込んでいる。
	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・韓国との関係悪化、香港情勢などによる訪日外国人の減少によりインバウンド客が大幅に減少している。また、台風の影響によるキャンセルも来客数の減少に影響している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・9月に入り、特に飲みに出掛ける客が減少している。製造業や建設業等の客が減少し、全般的に悪くなっている。
	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・全体的に耐久消費財の購入がそこまで活性化しておらず、むしろ月次の支出をどう抑えるかに思考が向いている様子で、当社サービスにおいても契約内容の見直しなどが進んでいる。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込みの動きも目立たず、夏季ボーナス時期以降の客反応は低調である。
	放送通信サービス(総務経理担当)	お客様の様子	・料金延滞回収率が低下している。
	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・消費税の引上げもあり、購買意欲が低下している。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要がない。
	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・建築設計では、消費税の引上げ前の駆け込みも目立った動きはなく静かで、官の仕事も人手不足等の原因で応札できずに不調となる結果が数多く見受けられる。
×	商店街(代表者)	単価の動き	・9月は全く売れていない。
×	商店街(代表者)	来客数の動き	・台風等に伴う天候不順で観光客数が激減している。
×	一般小売店[眼鏡](経営者)	単価の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要はあるが、景気は悪くなっている。
×	乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・今月は仮決算で、3連休も2回あり、前年並みの販売量を見込んでいたが、駆け込み需要もなく、成約に結び付かなかったことから、販売量は前年の88%となっている。
×	その他専門店[布地](経営者)	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要もなく、買物に慎重である。
×	美容室(経営者)	お客様の様子	・消費税の引上げ前に買いためをするなど、物への消費は多少進んでいるが、美容室の客の動きは悪い。
企業 動向 関連	-	-	-
(中国)	不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数や成約件数が2割程度増えている。
	農林水産業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・しけ等で水揚げが少ないときでも、魚価が上がらず、高ければいけないというような買い付けが多く見受けられる。
	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・最近トラックの増減がなく、消費税の引上げ後も特にトラックは増加していない。
	繊維工業(監査担当)	受注量や販売量の動き	・閑散期なので、ほとんど荷動きはない。例年と同じ環境であり、景気変動は感じられない。
	木材木製品製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・消費税の引上げ前であるが、駆け込み需要が大きくなく、日中貿易摩擦や世界経済の減速感などがあいまって、結果として景気は変わらない状態が続いている。
	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が生産能力の70%程度にとどまり、採算面でも非常に厳しい状況である。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・技術職は稼働率が100%に近い状態が続き、予定される物件でこの先1年は目一杯の状況である。受注を逃したとしても他の物件で充当できている。
	輸送業(総務担当)	取引先の様子	・取引先の受注量等に大きな変化はない。
	輸送業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を見込んでいたが、いつもの期末需要程度の伸びしかなく、状況は変わらない。

	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器関連の10月の販売実績は順調に積み上がっているが、11月以降の見込みが伸び悩んでいる。セキュリティ関連の販売はまずまず順調である。
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年の同時期と比較し、アウトソーシングに関するソリューションサービスの受注量がほぼ同等の伸びとなっている。
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの世界販売が中国や北米で前年比大幅マイナスとなり、系列の地元部品メーカーの受注も全体としてやや伸び悩みが続いている。休日操業や残業も以前よりは少なくなっている。
	金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要の動きが鈍い。
	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費には不透明感があるが、ITやサービスではRPAやアウトソーシング等新たな事業も成長しつつある。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・台風や豪雨等の災害で流通が思いどおりにいかず、受注量が減少している。また、秋冬商材も計画を下回っている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化学工業薬品の基礎原料となる当社製品、特に高機能樹脂生産向けの受注量が、米中貿易摩擦の影響で減少基調にある。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・好調な部門もあるが、生産量に一部陰りがみられる。このため多忙な部門と閑散な部門が生じている。
	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・在庫調整局面が継続しており新規注文が抑制されている。在庫処分の動きもあり市況も下がり気味である。
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料関係の素材受注量が減少している。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が停滞していることから、当社製造装置の受注が減少している。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの内示量から1割以上の減量となっている。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・造船各社の第1四半期決算が出そろったが、円高による受注工事損失引当の積み増し等により、厳しい結果となっている。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・新規荷主の獲得で発送個数や収入は増加しているが、既存荷主からの出荷個数が減少傾向にある。また、個人客も取扱店、コンビニ、営業所への持ち込みが減少傾向にある。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客情報及び受注量の内容から少し下降状況で進行している。
	x	-	-
雇用関連		-	-
		-	-
(中国)	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数を前年比で見ても変わらず大きな変化はない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関係が厳しいため、製造業や派遣業の求人数が伸びておらず、全体でも求人数は変わらない。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・非製造業を中心に求人意欲が堅調である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率がやや低下し、景気が下降基調のようだが、実際には求人数は増加し、求職者がそれ以上に増加している状態である。まだまだ景気は堅調に推移している。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は、乳製品製造業がクリスマスケーキ製造に伴う短期パート求人の人材不足を背景に例年より1か月時期を早めて求人している。求人全体では横ばいで推移している。
	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で4.0%減少し、有効求人数も2.3%減少したものの、最近では募集時期のずれ等も見受けられ単月では読みづらくなっている。有効求人倍率が引き続き2倍を超えており、企業の募集活動に大きな変化はない。

	職業安定所（職業指導担当）	求人数の動き	・今後の動きとして消費税の引上げ等があるものの、求人、求職状況は、人手不足の状況が当面続く。
	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新規求職者数が前年比21.1%減となり、特に女性の新規求職者は前年比36.4%減と大幅に減少している。一方で新規求人数は、求人更新のタイミングもあり前年同月に比べ建設業で増加し、運輸業で減少している。有効求人倍率は横ばいで推移している。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・採用意欲に若干陰りは見え始めたが、依然旺盛であり、特に年齢を気にしないという企業が増えてきている。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	採用者数の動き	・若い人の人材不足で採用環境が好調なので、景気とは連動していない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求職者数の動き	・一般企業への就職を希望した学生はほぼ全員内定を得ており、新たな求人があっても応募する学生がほとんどいない。
	人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・地元完成車メーカーなど自動車関連は確実に求人ニーズが減ってきている。現状そこまで極端な営業はないが裾野が広い分野なため、影響は出てくる。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・米中、日韓の政治情勢により、企業の生産活動が停滞している。また、消費税の引上げに向けた求人の動きもないため、全体的に景気の後退感がある。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・20～30代半ばに対する中途採用市場は相変わらず好調で、募集をしても採用できない場合が多いため、契約社員として40～50代を活用する企業が出ている。新卒採用においても絶対数の採用から、採用できない場合は無理をせず、中途採用や派遣に変更したり、採用しないまま社内異動で対応したりするなど、前年までの状況と変わりつつある。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・求職者の動きが全くない。
x	-	-	-